

区切りというもの、人間の気持ちや行動を変容する意味で大きなエネルギーをもっている。クリスマス、新年、卒業、様々な記念日や毎週末など枚挙に暇がない。人間は、ある時点を境に急に変わるものではないと思う反面、区切りをつけて新たに誓いを立て歩いていくことを求めている。大人びた小学6年生がある日を境に初々しい中学生になり、すべてを知った大学4年生が不安と希望に満ちた新入職員となる。脱皮後の不安定性とその後の新たな成長の摂理は、人間にも十分に当てはまるようである。その意味から、理学療法は、対象者の行動変容のきっかけになるためにどうしたらよいのだろうか、また、変容した行動を維持することに貢献しているのだろうか。

人間の営みや行動には、狭義の自然科学では十分に解明されていない部分や割り切れないものがある。他方、10数年前のわずかな痕跡は、その遺伝子を通して明確に個人を特定できることも事実である。ヒトの痛みとは、感覚であるのか情動であるのか、長い論争の後に、現在の痛みの病態生理はこの双方を含めることで科学として対象者を捉える立場を明確にした。

動物には運動、感覚、自律神経があり、21世紀の理学療法は、行動変容に資する感覚と自律神経系を外部操作でいかに調節できるかが大きなテーマの1つであるように感じる。行動を対象とするとき反射理論や動物モデルだけでは不十分であろうが、理学療法が解剖学、生理学、運動学的な基盤を脆弱にしては其の本質を見失うことになる。動作を基軸として、機能障害を同定するとともに活動や参加の適応をはかる症候障害学的な臨床思考過程を、科学的に論証し標準化することが大きな課題である。

近年の交通事故死亡者数は減少を続けている一方で、自殺者は増え続けている。また、飲酒事故は総数こそ減少しているが、本人や家族の悲痛な叫びは数で量られるものではない。政策や制度の効果判定は客観的な代表値であろうが、理学療法における効果判定はそれのみで十分であろうか。対象者の主観や満足感が重要であるとする意見を、十分に傾聴して考慮する必要がある。

私たちは理学療法を学び、理学療法士として職に就いているが、理学療法を保健制度の枠組みで実施することと理学療法を応用できる領域とは同じではない。これはすべての職業にいえることであろうが、職を通じて得た関係や役割、知識や技術を通じた可能性は自己実現と社会貢献の過程で大きく広がっている。

ものごとのバランスの重要性とともに、専門用語としてのバランスの意味を改めて噛み締めている。

科学技術の進歩は可能性の拡大であり、科学への挑戦は自身への挑戦でもある。“痛みへの挑戦 The challenge of pain”を著した Melzack R と Wall PD が、痛みは防衛反応であるという誤った概念を受け入れるべきでないとする Leriche R の言葉を引用したことが、今も新鮮な輝きを放っている。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第42巻 第2号)

2008年2月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

〔2008 年年きめ予約購読料 20,880 円〕
(全 12 号、配送料弊社負担)

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

(担当: 松田・吉永・鹿嶋・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 峯 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 基
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里